

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	保健医療論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	本井 治	実務経験と その関連資格	厚生労働省保健医療局、近畿厚生局、国立病院等医療機関及び滋慶医療経営管理研究センター等、実務経験を有する。			
《授業科目における学習内容》						
医療や看護の原点を考えながら、医療の歴史と現代医療の実像、さらにこれからの方向などについて考察し、医療と看護のあり方を考える姿勢を身につける。また、医療のあり方の変遷と現在の医療の状況、医療を提供する側と医療を受ける側との立場などについての概略を知識として修得する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「総合医療論」(健康支援と社会保障制度①)医学書院(小泉俊三・平尾智広・有吉浩美 著)						
《授業外における学習方法》						
教科書を事前に読んでおくこと。練習問題を配布するので、あらかじめ解き、解説後、要点を整理すること。(2回の予定)医療関係の報道などに関心を持ち、情報に対して自ら考える姿勢を身につける。						
《履修に当たっての留意点》						
授業の都度、重要なキーワードを示すので、その意味を理解すること。復習として教科書により確認し理解を深めること。また最新の医療、福祉関係の情報から、学んだことと現実との関係性を考察する姿勢を持つこと。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	援助と共感、また共感的な人間関係、パターナリズムなどについて理解し、コミュニケーション力を身につける。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。	
		各コマにおける授業予定	医療コミュニケーションの原点にさかのぼる。専門職としての医師と看護師、また病める者への自立の援助などについて考察する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	命と死、QOL、ストレス、また医療におけるアートなどについて考察し説明できるようになる。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。	
		各コマにおける授業予定	医療と看護の原点として、病と癒しについて考える。命と健康について、また病の体験などから癒しなどについて考察し、チーム医療まで考える。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	近代以前から受け継がれた医療観から20世紀の科学的医療までについて学び、医療観の変遷を理解する。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。問題を配布するので解いておくこと。	
		各コマにおける授業予定	医療の歩みと医療観の変遷を学ぶ。現代医学の起源として古代から近代へ、またわが国の医療観とこれからの医療観について考える。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	入院から退院まで、保健・福祉行政、高齢者介護、ノーマライゼーション等についての知識を整理し説明できるようにする。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。問題解説後、要点を確認し理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	私たちの生活と健康について考える。救急医療、薬と安全、環境衛生、健康増進、少子高齢社会、障害者、精神医療などについて幅広い視野から医療を見つめる。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	科学技術の進歩と社会生活の変化との関係、また現代医学の最前線の状況について概略を説明できるようにする。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。問題解説後の理解と要点整理すること。	
		各コマにおける授業予定	科学技術の進歩と現代医療の最前線について学ぶ。先端医療、最新のがん診療、移植医療、人工臓器、再生医療・画像診断などについての知識を得る。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代医療の課題として何が生じているのか。延命治療と生命倫理、情報開示など広く知識を得て説明できるようにする。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。
		各コマにおける授業予定	現代医療の新たな課題について考察する。副作用と手術偶発症、医原病、生命倫理、医療不信、インフォームドコンセントなどについて考察し知識を得る。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	医学情報と疫学、インシデントと医療安全、医療情報の管理システム等の考え方を学び説明できるようにする。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。問題を配布するので解いておくこと。
		各コマにおける授業予定	医療を見つめ直す新しい視点について考える。臨床疫学、患者の安全、医療の管理と評価、情報化社会と医療などについて考え知識を整理する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康・医療・福祉と社会との関係性から地域の保健・福祉までシステムのあり方を理解し説明できるようにする。	プロジェクター	教科書を事前に読んでおくこと。復習として、授業の要点を教科書で確認し理解すること。問題解説後の理解と要点整理すること。
		各コマにおける授業予定	保健・医療・福祉の潮流について考える。プライマリケア、在宅医療、地域包括医療システムなどについての考え方と知識を得る。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			